

アーティスト・イン・レジデンスプログラム イン パリ 2020/2021 公募のお知らせ

アンスティチュ・フランス、シテ・アンテルナショナル・デ・ザールと協同し、おおさか創造千島財団、京都芸術センター、ヴィラ九条山の3者が主催する、フランス・パリにおける2020-2021年度アーティスト・イン・レジデンスプログラムにおいて、関西地方に拠点のあるアーティストに向けた公募が開始されました。

対象者は、関西圏内に在住もしくは主な活動拠点をもち、創造活動を行う個人(アーティスト、キュレーター又は美術評論家、年齢制限なし)で、活動のジャンルは問いません。参加希望者はヴィラ九条山のホームページ(villakujoyama.jp/ja/)から必要応募書類をダウンロード・記入の上、2020年3月29日(日)日本時間午後11時59分までに、vk.candidature@institutfrancais.jp宛てに全ての書類をメールでご送付下さい。

選出者2名はそれぞれ3ヶ月間(2020年10月-2021年1月、2021年1月-4月)フランス・パリのシテ・アンテルナショナル・デ・ザールに滞在しつつリサーチ活動や制作に取り組み、滞在後には関西での報告会に参加することとなります。本プログラムにおける支援内容は、往復エコノミー航空券と滞在場所の提供、加えて滞在

補助費とリサーチ・制作補助費の給付です。

「アーティスト・イン・レジデンス プログラム イン パリ」の始まりは、関西やパリといった、歴史が長く芸術分野において活発な地域に位置する主要な文化機関の間の対話にあります。地域に根ざすアーティストを応援する京都芸術センターとおおさか創造千島財団は、アンスティチュ・フランセが運営するアーティスト・イン・レジデンスプログラムの一つであるヴィラ九条山と協同し、日本とフランスのクリエイターのつながりをより強固なものにすることを目指します。

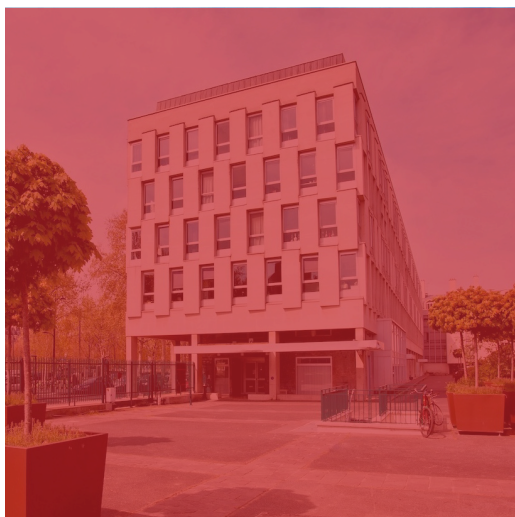
創作活動の各段階を支援し、異なる場所での日仏文化コラボレーションを推進したいという願いから、これら二つの国の主要な機関が展開するレジデンスプログラムを立ち上げるというアイデアが生まれました。

アーティストに整った環境下でリサーチや創作に取り組む機会を享受してもらいたいという思いから、最も歴史のある、フランスを初め世界でも類をみないレジデンスであるシテ・アンテルナショナル・デ・ザールが選ばれました。

2019年に立ち上げられたこのプログラムには、すでに3名のアーティストが参加しました。このうち2名、宮坂直樹と山村祥子の作品が、おおさか創造千島財団が3月に新たにオープンするSuper Studio Kitakagayaで展示されます。開催日:2020年4月25日(土)、26日(日)、5月2日(土)、3日(日)

本展実施に関する最新情報は、ヴィラ九条山のHPよりご確認ください。

お問い合わせ先
villakujoyama.jp/ja/



Maurine Tric

アーティスト・イン・レジデンスプログラム イン パリ 2020/2021

ヴィラ九条山

建築家・加藤邦男氏の設計で1992年に京都東山の丘の上に建てられたヴィラ九条山は、既にプロフェッショナルとしてのアプローチに取り組み、評価の定まったアーティストや研究者を受入れており、分野横断的な交流の場であるヴィラ九条山の使命は、フランスと日本の文化的対話を促進することにほかなりません。

ヴィラ九条山は、アンスティチュ・フランセ日本の6つの支部の1つで、主要メセナである、ベタンクールシュエーラー財団と、アンスティチュ・フランセの支援を受けています。

www.villakujoyama.jp/ja/
www.facebook.com/VillaKujoyama/
www.twitter.com/villakujoyama/
www.instagram.com/villa_kujoyama/

おおさか創造千島財団

おおさか創造千島財団は、大阪で行われる芸術・文化活動の支援と、創造活動拠点の提供を通じて、関西の芸術文化の発展に寄与するとともに、地域の新たな価値を創造し、創造的かつ文化的に多様な地域社会を創出することを目的として設立されました。

大阪および周辺で活動するアーティストの活動を支援することにより、関西一円の芸術文化の振興に寄与するとともに、芸術・文化によって地域に新たな活力をもたらす、魅力的なまちづくりに貢献することを目指します。

www.chishimatochi.info/found/
www.facebook.com/ChishimaFound/
www.twitter.com/ChishimaFound/

京都芸術センター

京都芸術センターは、京都市、芸術家その他芸術に関する活動を行う者が連携し、京都市における芸術の総合的な振興を目指して2000年4月に開設されました。多様な芸術に関する活動を支援し、芸術に関する情報を広く発信するとともに、芸術を通じた市民と芸術家等の交流を図ることを目的としています。

京都芸術センターの3つの特徴としては、ジャンルを問わない若い世代の芸術家の制作活動の支援、さまざまなメディアを用いた、芸術文化に関する情報の収集と発信、芸術家と市民あるいは芸術家相互の交流の促進があげられます。

www.kac.or.jp/
www.facebook.com/kyotoartcenter/
www.twitter.com/Kyoto_artcenter/
www.instagram.com/kyotoartcenter/

アンスティチュ・フランセ

アンスティチュ・フランセは海外に向けたフランスの文化活動を推進する公的機関の一つで、多様な芸術分野、知的交流、文化と社会のイノベーション、語学交流を網羅しています。世界に向けて、フランス語や芸術作品、アーティスト、思想を発信しつつ、それらのより深い理解を目指しています。

当機関はフランス外務・国際開発省管轄と文化・通信省管轄のもと、ソフトパワー外交に積極的に貢献しています

www.institutfrancais.com/fr
www.facebook.com/institutfrancais.pageofficielle/
www.twitter.com/IFParis/
www.instagram.com/if_officiel/

シテ・アンテルナショナル・デ・ザール(パリ国際芸術都市)

1965年の創立以来、パリ国際芸術都市は、公立の財団として、世界のあらゆる国からのアーティストをパリのレジデンスに迎えてきました。

全分野で活躍する約百国から来た数千ものアーティストだけでなく、展覧会キュレーター、美術史家、文学作家、思想家などが毎年300以上ある住居兼アトリエに滞在しています。また、パリ国際芸術都市は、滞在中のレジデントの文化プロジェクトに寄り添うと共に、コンサート、展覧会、公演、上映などを通じた作品のプロモーション、フランス内外の文化機関のプロフェッショナルに向けたアーティストの紹介を行っています。

www.citedesartsparis.fr/
www.facebook.com/citedesartsparis/
www.twitter.com/citedesarts/
www.instagram.com/citedesartsparis/

お問い合わせ先

villakujoyama.jp/ja/